

山南はな

37年11月10日

発行所
 稿 町 役 場
 編 集
 庶 務 課
 毎月10日発行

町の人口(現住人口)	
(11月1日現在)	
男	7,362
女	8,083
計	15,445
	2,876 世帯

第 13 号

運動会など多彩な催し

各地で『文化の日』祝う



写真(上)盛んな文化祭の応援団
 (右上)ズラリ並んだ菊の花—菊花展
 (右下)乗馬ズボン姿のソフトボール大会—高城



▽▽▽▽
 町長盃伊香に輝く
 高城地区球技大会で
 △△△△

力作ぞろい菊花展

稿・中央集会所

まず十一月二日には中央集会所の菊花展がトップを切つてフタを開けた。これはきよ年にくらべ五十点も多い二百五十点の作品が参加し、丹精こめてつくられた、けんらん優美な菊は、さしもの広い中央集会所を花と花で埋めてしまった。

上位入賞者次のとおり。

- ◇競技花 特賞 藤田伯寿(台宿) 一等 藤田市郎(東河内) 同 遠藤直一(塙) ◇一般厚物 特賞 松岡時広(塙) 同 勝田常三郎(塙) 二等 芳賀安之(塙) 上石井 同 大畑清(塙) 二点、同下重茂 義(塙) ◇細物 一等 下重茂 義(塙) ◇盆栽 一等 石川七郎(塙)

シン舞いも とび出す

稿・文化祭

こちら笹原地区の文化祭は、今年で十四年という伝統の上に文化の日化やかに幕を開けた。まず昼の部は、午前九時から笹

中校庭において運動会、モンペ姿の農家の主婦からおじいさんまで家族ぐるみの参加でにぎわった。特に川上二区のシン舞いや同三区の天御連、田代の勇壮な柔道着姿の応援団もくり出し大気分をい、やがうえにも盛り立てた。

夜の部は屋体において芸能大会が開かれ、民謡唄りやのど自慢でひごろの腕を披露し、文化の日はおそくまで続いた。

▽団体入賞次のとおり
 昼の部 優勝 川上一区、二位 田代、三位 川上三区
 夜の部 優勝 川上一区、二位 川上二区、三位 川上四区

珍プレーに爆笑

稿・高城地区球技大会

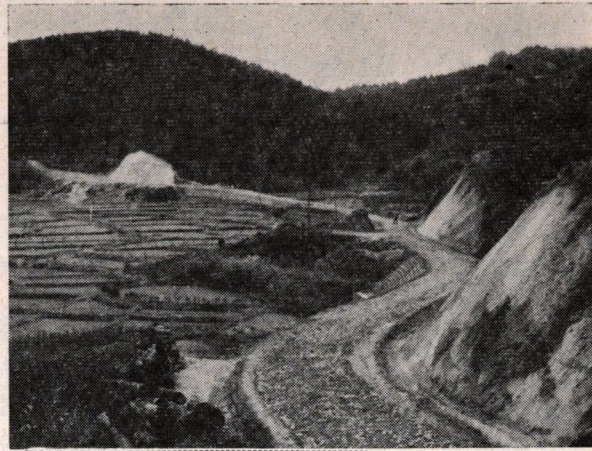
高城地区の球技大会は四日、高城小と御殿川原両運動場で開かれた。この催しはきよ年から始められたもので、出場資格は高城小の生徒とそのお父さん、お母さん。まず御殿川原ではお父さんのソフト・ボール大会、地下たびに乘馬ズボン姿の珍プレーにヤンヤの拍手が起つていった。一方お母さんたちはドッチボールで足腰をのばし、こちらも盛んな歓声がわいていた。

総合順位次のとおり
 ◆優勝(町長盃) 伊香PTA ◆二位 植田下町 ◆三位 植田上町 ◆四位 眞名畑町

那倉一 片貝 山村振興林道

二年目の工事終る

できれば奥地開発の大動脈に



写真は 延々つづく山村振興林道 (式部倉地内)

那倉と片貝を結ぶ南田代までの山村振興林道開設事業は、36年度から三カ年計画で行なわれているが、このほど37年度分の工事が終りました。

告・知・板

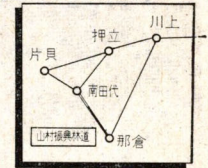
昨年六月に戦時加算が認められる主として旧軍人に対する恩給が大巾に復活し受給権のある資格者は、いま申し立てを行なつていますが、次の事項に該当する方は、加算恩給とは別に請求申し立てをしなければならぬので、急ぎ申し立てをするようにして下さい。

急いで請求して下さい

普通恩給未裁定者へ

町長さんには、毎日町政に御努力有がとう御座います。私は町の一かくに住む一農家です。

昭和37年2月1日以前に普通恩給の裁定を受けなかつた者、または昭和38年法律第百五十五号施行後も、引続く7年以上の實在職年が、所定の年数に達しないため、普通恩給が発生しないもの(未裁定者という)で一年以上の實在職年を合計して普通恩給最短期間に達するものは、新たに普通恩給権が発生する。



この林道は、総延長四千五百メートルで工事費が千二百万円が三・六メートルでバスも通れる立派なものです。36年度分として千三百二十メートルがで

き上つていたところえ、ことし分千九百九十三メートルがこのほど完成したわけです。この林道は、ほとんどが国有林を切り開いてのもので、風光もよく、全線開通後は、奥地の産業開発だけでなく、町の名勝地として観光面に役立つことも多いでしょう。

去る十月十七日、埴町議会議員の相良義男さんは脳軟化症の一才



相良町議亡くなる

ため自宅で亡くなりました。相良さんは、合併直後の昭和三十一年三月議員に選ばれ、農業委員、新市町村建設審議会委員、行政事務改善審議会委員などの要職にありましたが、町の役職以外では埴町共済組合長、県共済連の監事など農政に力を尽くされていきました。享年八十一才

毎日、外来患者二百人

てんてこ舞いの窓口係

あな職場 この職場

埴厚生病院

次いで二位を誇っている。職場は医局、薬局、看護、技術、事務、給食に分れており、内部の会議も多い。まず院長、事務長、婦長など幹部を網らした管理委員会や医療会議、それに給食の委員会など多彩な経営の合理化やサービスの改善

事務室内



→窓口の混雑

施設の方では、最近X線室ができ上り、新しくみの手術室の完成も目の前である。また入院学童の病室についても事務長さんは「なんとか新設して学習に遅れないよう措置してやりたい。」と語っている。

職員の間には、「親和会」があり春秋二回旅行をしている。今秋は日光・鬼怒川の家族連れ日帰り旅行。また厚生連職員全体の労働組合もあるが、経営内容を公表しているので、給与折衝などは案外スムーズにいつているようだ。(今回は酪農組合)

この新聞は、皆さんの新聞です。家中でお読み下さい。読んだ後は纏っておきましよう。

街をきれいにするために

ゴミ処理にご協力下さい

近年一般の日常生活の向上に伴ない、どこでもゴミの発生が多くなつて困つています。当地方も多分にもれず、し尿の処分と併せて解決しなければならぬ課題となり、特に大字塙を中心とする集落地帯のゴミ発生は特に多く、なんらかの対策を立てられなければならぬ事態になつてきています。

従来大字塙地区内の処分の例をみてみると、町堀や堤防の上などに自由に投げられていた。しかしこれは捨てた人のゴミは片づくが町堀の下流で、堀にかかつたゴミを引き上げさせられる人達のめいわくは大へんなもので、特に川辺りや



通行人の多いところ、人目につくところに散乱したゴミがあるのは、衛生上は勿論、景観上あまりかたはしくない。何んとか措置しろ、何をしているか、と大方の批判があるのは当然といましよう。

しかし、町でもゴミ処分のための施設とか、設備とかが、何もないので、さてどうしたものかと思ひあぐんでいます。ゴミ焼却場は、し尿処理場とともに清掃事業を進める上の二大拠点であるだけに、一時しのぎの設備などでこしては行けないし、将来し尿処理場との併設で行く

ことが最も望ましいことですがそれを待つては現況が救われないし。

そこでやむを得ず徹底的だが現在の処分方法を少しづつ強化して行く以外に手がないのではないかと思つています。つまり各家庭が、従来捨てていた場所(ただし堤防の上はまずい)にかためて積み重ねるように捨ててくれたものを、定期的に町衛(生保)が現場で燃やすようにすることであります。このことは大字塙地区内の区長さん方にも協力を求め、話し合つてみました。実はそういう心算で、十月初め

主なゴミ捨て場所となつて、ところを焼却整理しましたが、もの一日もたない間に、また元通りのゴミ捨て場になつてしまいました。何んとか地区内の人達の協力を得て、ゴミの焼却施設を持つようにならざるまで、街の隅々をきれいにするために、処分方法を工夫し合つて行きたいと思ひますから、何分のお力添えを頂きたいと思ひます。(住民課長)

●ゴミはなるべく自宅で処分するよう工夫して下さい。●ゴミを捨てるとき町堀や堤防上には捨てないで下さい。

該当者はぜひ手続きを

今月は未適用被保険者解消月間

▽十一月は、国民年金に当然該当する方で、まだ手続きをしていない方に届出をしてもらつて、この制度から洩れる人が一人もないようにする期間です。

国民年金日より

▽この国民年金制度から洩れることは、日本国民でありながら、日本のどんな年金制度からも外れてしまうこと。この外れた期間は将来とも年金の保障がされないことにな

きをするよう願います。▽……とくに成人(満二十才)されて資格を取得された方の届出がおくれておりますから至急届出をして下さい。

▽……またほかの年金制度からぬけられた方は、その日から国民年金に加入することになつております。

▽……いずれも国民年金の被保険者に該当した日から二十日以内に役場に届出をしなければなりません。

▽……このほか、住所や名まえを変更されたときも同様届出が必要ですよ。

▽……以上のような届出をこの促進期間中に、ぜひ完了されるよう皆さんの協力をお願いいたします。

山に多い「寄生虫卵」

—学童らの調査まとめ—

にいせんとして山間地の学童に多いことがわかりました。

学童がどの卵をもつているかを調査する「三十七年度上期学童虫卵保有状況調査」の結果が、このほど榎倉保健所がまとめました。これによると下の表のよう

寄生虫卵保有者はこんなにある (37年度上期)

学 校 名	検査した員	虫卵保有者	虫卵の保有率	年 率
小 学 校				
那 倉 倉 庫	149	69	46.3%	42.5%
片 原 原 城	197	65	43.6	38.6
高 台 宿 埜	503	141	28.0	22.8
高 台 宿 埜	285	68	23.8	23.8
高 台 宿 埜	105	23	21.9	15.1
高 台 宿 埜	514	101	19.4	19.1
中 学 校				
那 倉 倉 庫	65	31	47.6	40.7
片 原 原 城	213	56	26.2	13.1
高 台 宿 埜	218	46	21.1	14.4
高 台 宿 埜	569	115	20.2	13.1
片 原 原 城	70	12	17.1	37.3
保 育 園				
高 台 宿 埜	68	8	11.0	9.1
植 田	38	4	10.5	6.1

(注) 順序は、保有率の高いものから。

見ましたか 回覧板

- 最近こんな回覧板を廻しました。ご覧になりましたか？(10.12-11.5)
- ☆第2回ジフテリア、百日せき予防接種実施通知(10月12日付)
 - ☆和牛仔牛・堀毛和牛の生産検査のお知らせ(17日付)
 - ☆町税の出張徴収と国民年金保険料納付について(19日付)
 - ☆職業訓練指導の講習会について(19日付)
 - ☆乳幼児股関節検診のお知らせ(24日付)
 - ☆3才児一斉健康審査のお知らせ(11月2日付)
 - ★回覧板は、どれも大切なことがいっぱいつています。よく目を通しましょう。

先生 児童の美術展

郡内の腕くらべ
22日から公民館で

第一回の郡内教職員と児童の美術展が次のとおり開かれます
と き 十一月二十二日から三
日 間 毎日八時半～五時
と ころ 塙町公民館・中央集会所

展示作品は、絵画、書道、彫刻多数お出かけ下さるようお待ちしております。

今月の納税

固定資産税 四期分
所得税二期分
(税務署取扱い)

今月末日が納期限です。忘れず完納して下さい。

明るい一家



農事だより

お知らせ

水陸稲、大豆タネの注文は済み
ましたか

水陸稲、大豆タネの準備はでき
ましたか。
品種を変えたり、長い間自分
の家でタネを採っていた方など
に、町採種組合産のタネをおす
すめします。

- 水稲 越路早生、オオトリ
ササシグレ、農林二十一号、セ
キミノリ、シンツルモチ
 - 陸稲 農林モチ二十号
 - 大豆 ハンカリ、旭六十号
- この申し込みは、農事組合長
さんを通じ、十一月五日までと
しておりましたが、追加申し込み
も受け付けますから、まだ済ん
でない方は、至急申し込んで
下さい。

栗栽培で現金収入を

羽原谷地が集団で始める

- 湯岐・羽原谷地部落の農家25戸が栗栽培で所得を
- 上げようと組合を結成、今春には1,000本を植え
- つけ注目されています。

比較的少なくてすみ、しかも所
得の多い栗を栽培し、農家総収
入の半分を栗で上げようと二十
五戸が手をこまぎました。
昔の笹原地区一帯は、栗の豊
年には、一戸の農家が数十俵も
しば栗を拾って馬車で売り出し
ていました。ところが九州から
北上してきた栗の害虫「栗タマ
バチ」の被害で、ほとんど全滅
に近い状態になりましたが、い
かにこの地方、特に笹原地区一
帯が栗の適地であったかをよく
物語っています。

干本を植えつける

部落では、この春、県林業指
導所庄司技師の指導で、土壌の
分析調査、植栽、せん定などの
実習によって「栗タマバチ」に
強い伊吹・丹沢・筑波・ちの七
など干本を植えつけた。も
うしっかりと実を付けたもの
もありました。五年目頃からそ
ろそろ最盛期に入り、八年目には
三、四百キロの収穫を上げよう
としています。

この部落が、きよ年からたい
した技術も要求されず、労力も
少ない。

野ネズミを 退治しよう



秋の取り入れ作業が終わると、
野ネズミも冬ごもりの準備の
ため活動を始めます。とくに
これからは家屋に入ってきて
あらゆるものを荒しますが、
その他にも私たちにとって恐
しいワイルド病の保菌者でも
あります。ごしも徹底的な
野ネズミ退治をしましょう。

耕うん機は世界一だが

考えた機械化の目的

生活や文化が進めば進むほど入
間は野性的な食物を好む習性が
ある(岩田農業改良課長談)と
いわれおり、更にアメリカ、
イタリアの産地国が、胴枯病で
全滅の現況からみても、栗の需
要は益々多く、今後の成長産物
として期待されています。
羽原谷地部落では、更に将来
三十町歩の産地造成をし、現金
収入を上げる農業へ脱皮して行
こうと計画を進めています。

最近ではどこへ行っても耕耘
機のエンジンの音が聞こえます
耕耘機、テレビ、バイクなどの
普及は実に目ざましいものがあ
ります。

いわなければならぬでしょう
最近になって「くわかま農業
から大型トラクター農業へ」と
さかんに言われています。(も
ちろん日本らしい機械のとり入
れ方があるが)。(外国では、
機械化とは重労働を意味す
るそうです。大型トラクターが
始動すると、分秒の休みなく数
時間おつ通して機械と取り組む
からです。これは、小手先の小
筋肉を使うのでなく、大きい筋
肉を、つまりからだ全体を使う
からです。

したがって機械化には、スタ
ミナ(体力)が絶対に必要で、
日本でも近い将来、小型ではな
くほんとの意味の機械化が進
むとき、そこは連綿的ではなく
しい重労働が待ちかまえてお
ります。
農業の機械化には、体力のつ
く食生活の切りかえもあわせて
考える必要ができています。

今月の農作業

●稲作

良質の米が要求されている。米の品質は先
ず品種の選定が大切、今月のうちに種子確保
をしたい。翌春に行なう畑代予定地を決め
床土の培養(施肥や耕起)をはかりたい。この
場合石灰などアルカリ肥料はやらない。

●そ 菜

秋野菜の収穫期です。早めに収穫し、貯蔵
するものはじょうずに貯蔵して冬に備えたい
若穫りは腐れやすく、過熟はさけたり、われ
たりするので良くない。低温、乾燥、暗黒に
して呼吸とじょう散作用をさけるのがコツ。

●畜 産

飼料畑は最後の刈り取りは根元を五〜六セ
ンチ残して刈り、施肥をする。エサの切りか
えに注意する。練草から乾草やわらへ一時に
全部きりかえず、しだいにならすこと。根菜
類は小さく切つて与えましょう。

◇…今年も文
化の日を中心
に、各地区で
スポーツの催
しが開かれた
これらの催し
が、地域ごと
では町全体の
一体性から好ましくない、など
という声もなくはなかつたが、
声はどうあれ、地域の人たちの
手で自主的に運営されているこ
とは、催しの趣旨からも大きな
意味があるようだ。しかしこれ
らの催しが一歩前進し、町民総
参加のレクリエーションに発展
しても、もうよいのではないか
と、思えてならないがどうだ
ろうか。
◇…本紙も一周年になりました
月二回発行の豆新聞ながら、な
んとか十二枚を重ねられたのも
みなさんのあと押しのためだと
編集部一同感謝しています。今
後も編集部員の夢にまで見る
生の声をどしどしお寄せ下
さるよう期待しています。
◇…ところで、一年を記念し、
町勢の写真集を折り込みました
動きの少ない写真となりました
が、今後はおつとカメラ・アイ
を広げ、人を中心とした地域の
動きなどもとらえて行きたいと
念じています。
◇…またまたで申しわけありま
せんが、「町財政のうつりかわ
り」を休みます。
× × ×
訂正 先月号の決算記事中建設
事業は、総額を除いて、単位が
千円でした。おわびします。